

「まちを知る 七北田を歩く」地域いきいきプロジェクト

泉区中央市民センター（地区館）×泉区中央市民センター（拠点館）

1 事業概要

泉区中央市民センターの管内には、奥州街道の宿場町として1623年に始まった七北田宿があり、2023年で開宿400年となりました。その節目の年を迎えるにあたり、令和2～4年度まで複数年で「いずみ探訪—地域案内人養成講座」を開催し、七北田地域の歴史資源を学びました。その講座の受講生から発足した自主活動グループ「七北田探訪会」が案内人となって、令和5年度より本事業「まちを知る 七北田を歩く」を開催し、奥州街道の宿場町だった歴史、史跡など古きを知ることで未来の自分たちのまちを考える機会となるようなまち歩きの講座を実施してきました。3年目となる今年度は、訪問範囲を広げ、泉区内の歴史資源の価値を地域に伝えることを重視して実施しました。



2 令和7年度の活動

令和7年度は地域住民を対象としたまち歩き講座を2回開催しました。9月6日には「洞雲寺・七北田刑場跡編」、11月12日には「熊野神社・中山早坂石碑群編」を実施しました。昨年度に引き続き洞雲寺を訪れましたが、今年度は往復マイクロバスを活用できたことで移動範囲が広がり、新たに七北田刑場跡をコースに加えることができました。



また、これまで七北田地区周辺に限定していたまち歩きを、泉区の西側へと広げて地域の貴重な歴史資源を訪れる機会を設けることができた点は大きな進展と言えます。2回ともマイクロバスを利用できたことで、移動時間を活用した車内での解説や現地での十分な説明時間が確保でき、内容の充実につながりました。また、案内を担当した「七北田探訪会」のメンバーにとっても初めての場所が含まれていたため、事前の下見や歴史資源の調査、説明内容の検討

を重ね、さらに写真を多用した配布資料を作成し、後から振り返りができやすいように工夫しました。また、「質問カード」を新たに取り入れ、参加者が疑問点を気軽に質問できるようになり、移動中や講座終了後のまよめの時間に回答することで、主体的な学びの場を実現することにつながりました。

3 成果と課題

今年度の成果としては大きく2点挙げられます。第1に、訪問範囲を広げ新たな場所の案内に挑戦したことで、案内ボランティアの意欲とスキルの向上につながり、さらに、参加者の興味・関心を深めることもできました。第2に、講座参加者のうち2名が新たに「七北田探訪会」に入会し、活動のすそ野が広がりました。

参加者からは、「身近な地域に深い歴史があることに感激した」「説明や資料が分かりやすく充実していた」「もっと地域の歴史を知りたいと思った」などの好意的な感想が寄せられ、地域の歴史を学ぶことで地域への愛着を深めるという目的は十分に達成できたと感じます。また、昨年度の課題であった「訪問先の十分な時間確保」についても、バス利用と事前準備の重点化により改善を図ることができました。

4 今後の展望

今後も引き続き「七北田探訪会」と連携して、地域への関心が高まるきっかけとなるまち歩き講座を開催する予定です。また、新規メンバーを迎えた「七北田探訪会」のスキルアップやメンバーの増員につながる活動を支援するとともに、学びを地域に還元する活動として発展させていきます。

